

会議録

会議の名称	平成29年度第1回 西東京市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成29年8月18日 午後2時から午後4時まで
開催場所	第3委員会室（田無庁舎4階）
出席者	【委員】 山谷委員、一方井委員、三澤委員、福田委員、池月委員、平山委員、笠原委員、秋山委員、塚澤委員、田中委員、斉藤委員、大沢委員、渡部委員 【事務局】 松川部長、原島課長、都築ごみ減量係長、本多清掃係長、下田技能長、岩崎技能長、寶槻技能長、磯部技能長、江崎主任、小島主事
議題	(1) 会長・副会長の選出 (2) 審議会の運営方法について (3) 西東京市の廃棄物行政の現状と課題 (4) 今後のスケジュール (5) その他
会議資料の名称	資料1 西東京市廃棄物減量等推進審議会委員名簿 資料2 廃棄物の処理及び清掃に関する法律抜粋 資料3 西東京市廃棄物の処理及び再利用に関する条例 資料4 西東京市廃棄物の処理及び再利用に関する条例施行規則 資料5 西東京市市民参加条例 資料6 西東京市市民参加条例施行規則 資料7 西東京市廃棄物減量等推進審議会傍聴要領（案） 資料8 平成28年度ごみ・資源物収集実績速報値等 資料9 今後のスケジュール
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>発言内容等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市長から各委員へ委嘱状の交付 2 市長から委員に挨拶 3 市長公務のため退席 4 推薦により山谷委員が会長に就任、会長から就任の挨拶 5 推薦により一方井委員が副会長に就任、副会長から就任の挨拶 6 事務局から審議会の運営方法について説明をした。 (審議会の運営に係る決定事項) <ul style="list-style-type: none"> ・傍聴人の定数を5人以内とする。 ・傍聴者は、会議時刻の15分前から先着順に決定し、定員を超えるときはくじ引きで決定する。 ・会議録は、田無庁舎・保谷庁舎それぞれの情報公開コーナーで閲覧できるようにする。 ・会議録の記述内容は、会議内容の要点記録とする。 ・会議開催日時等は、市報・ホームページで知らせる。 ・傍聴者には会議資料を閲覧できるようにする。 7 事務局から平成28年度ごみ・資源物収集実績速報値等について説明をした。 	

(委員からの主な意見)

- 平成28年度の多摩地域ごみ実態調査の数値が算出されていると思うので、課題を見極めてごみの減量を進めていただきたい。
- 可燃・不燃や資源ごみの収集頻度については、利便性やコストを考えて決めていただきたい。
- ペーパーレス化により、古紙の回収量が減少してきているので、再度、可燃ごみに混入しないよう周知してほしい。
- ごみ・資源物収集実績値等の説明を聞いて、やはり不燃ごみの量が多いので、分別が分かりにくい物については、広報等で市民に周知していただきたい。
- 家庭ごみ原単位について、多摩地域の都市部と郊外では、引っ越し等で人の流れも激しい都市部がどうしてもごみが増えてしまう傾向にあるので、よく分析してより効率的にごみを減量していただきたい。
- 窓あき封筒等、古紙とプラスチックが使われている物については窓の部分を切り取らないと資源化できないという理由から可燃や不燃で出されている場合がある。そのため古紙メーカーの環境配慮設計（窓の部分が古紙で出せる素材を使う等）を整備すると古紙として資源化できるものが増えると思われる。
- 家庭系ごみが減って事業系ごみが増えているので、事業系のごみ減量対策を考えていただきたい。
- 家庭ごみ原単位で、住民票を持たず住んでいる学生やディスポージャー付きのマンション等で数値に表れないものもあるので、そちらも加味した統計を作成していただきたい。
- プラスチック素材が付いている古紙の資源化の行方については、古紙は溶かして、また紙としてリサイクルされ、プラスチック素材の物は溶けないので燃料等にサーマルリサイクルされる。